

定と支払は社会保険庁で行われることになっていきます。

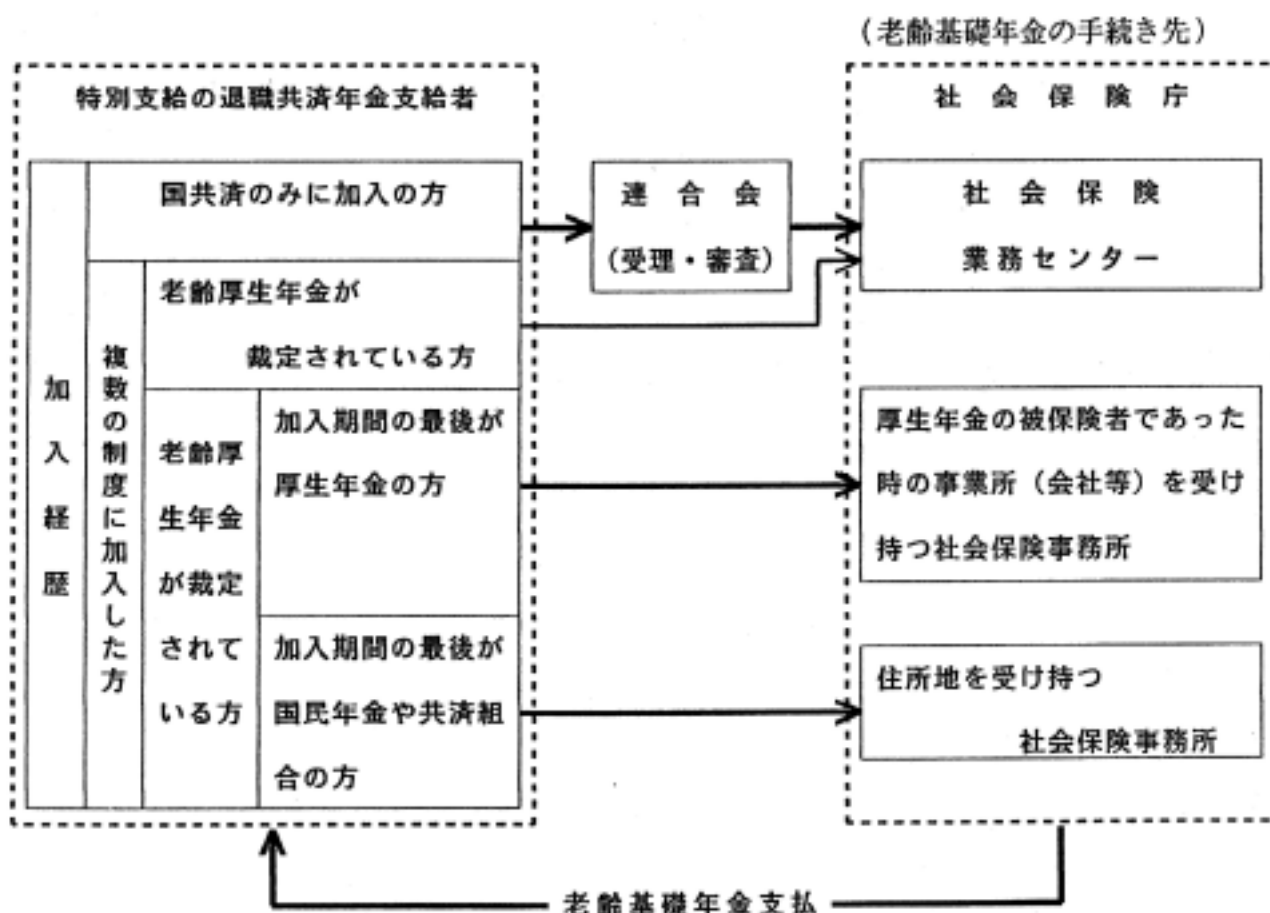
それでは、ここで夫々の請求手続きについてご説明しましょう。

(一) 退職共済年金の請求手続き
請求手続きが必要な方には、六十五歳の誕生日の四ヶ月前前に連合会から個別にご案内の上、二ヶ月前前に六十五歳からの退職共済年金を決定するために必要な請求書の用紙を送付されます。

連合会からの請求書の用紙が送付されましたら、必要事項（署名・押印だけの簡単なもので、その年分の『身上報告書』を併せた用紙になっています。）を記入していただき、同請求書の用紙に記載されている提出期限までに連合会へ提出（郵送）していただくこととしていきます。

(二) 老齢基礎年金の請求手続き
老齢基礎年金の請求手続きは、退職共済年金の請求手続きとは異なり、国家公務員等共済組合（国共済）以外の他の公的年金制度（注三）の加入経歴などによって、老齢基礎年金を裁定するための請求書の用紙やその提出先（手続き先）が異なっています。（第三図）

そこで、連合会では、請求手続きが必要な方には、具体的な請求手続きを特定してお知らせするために、六十五歳の誕生日の四ヶ月前前に「公的年金加入等調査票」で公的年金制度の加入経歴などを調査させていただき、この調査に基づいて老齢基礎年金の請求手続き先を六十五歳の誕生日の二ヶ月前前に退職共済年金の請求手続きに併せて個々にご案内する



第3図 老齢基礎年金の請求手続き先等

こととしています。

(注三) 「国共済以外の公的年金制度」とは次の年金制度をいいます。

国民年金

厚生年金保険 (厚生年金、昭和六十一年までの旧船員保険法による年金制度が含まれます。)

私立学校教職員共済組合 (私学共済)

農林漁業団体職員共済組合 (農林年金)

なお、地方公務員等共済組合、日本鉄道(旧国鉄)、共済組合、日本電信電話共済組合(旧国鉄)、共済組合、(旧専売) 共済組合の加入期間のある方のその加入期間は、国家公務員等共済組合の加入期間に含まれます。

Q 最近、基礎年金番号を受けましたが、これはどういう意義があるのですか。

A 公的年金制度においては、これまで加入する制度毎に年金付与番号が付され記録の管理が行われてきましたが、平成九年一月より、この番号が共通化され、制度を移った場合でも変わらない番号が用いられることになりました。この番号を基礎年金番号といます。これにより、共済年金、国民年金や厚生年金に関し、転職などにより届け出を忘れてる方へ連絡を差し上げたり、いくつかの届出を簡素化できるようになるほか、年金を受けるとき、より速やかに支給決定ができるようになどサービス向上を図れるようになります。

現在、国民年金や厚生年金保険に加入されている方は、加入されている番号

が、そのまま基礎年金番号とされています。

また、共済組合の加入者及び受給者の方には新たな番号が付与されました。勿論、年金基礎番号になることで、将来の年金額などには何ら影響はありません。

これまで、三回にわたり、拙文をお読み頂きありがとうございました。この年金の話を書きながら、一番勉強になったのは筆者自身だったろうというのが偽らざるところです。最後になりましたが、重ねてご愛読を感謝申し上げます。

「年金は、請求しなけりや貰えない!」ことをどうぞお忘れなく。

(資料は、大半、防衛庁共済組合の「年金のしおり」及び国家公務員等共済組合連合会の「知っておきたい共済年金」によりました。なお、今回も十条支処総務部総務課厚生班のご指導を頂きました。ありがとうございました。)

(担当 久光理事)

会員の近況

大先輩を訪問して

高木 謙次

昨年十一月末、青野桜一郎・古田陸彦両先輩に誘われ、自衛隊創設期に兵站分野の組織・運用全般に亘って基盤造りに参画され、自

らも武器学校長、武器補給処長を歴任された武器の大先輩谷本政一先生を目黒のご自宅に訪問する機会を得ました。

「俺も九十一歳になった。足が少し不自由で歩きが出来なくなつたよ」と言われましたが、お顔色も良くお元気で迎えていただきました。

現在の自衛隊についてのご質問と共に、創設期の貴重なご体験等を熱を込められて語られ、三時間があっと言う間に過ぎました。娘さんご夫妻と共に平穏な日々を送っておられ、今日の心境だと言われて次の歌を詠まれました。

暑さ去り訪ねゆくよと便りあり

指折り数えその日待つ我

知己の人そるい顔見せ嬉しき日

共に楽しくこの日過ごさん

創設期に使命感に燃え、誇りと情熱を傾けられた先輩の姿を偲び、その功績への感謝、後輩を思い案ずる温情等今更のごとく感じた訪問でした

(編集室から)

このような会員相互の交流の記事、或いはご自身の海外旅行の記事など、あまり難しく考えられずに気軽に「ご投稿下さい」。会報の発刊は、四月一日と十月一日の年二回ですので、二か月前の一月末か七月末までにお送りいただければ、その時の会報に間に合います。

会報の内容充実のため、大いにご利用頂きたいと思っております。お待ちしております。

平成八年度秋の叙勲

「おめでと〜」や「おめでとう」

勲四等旭日小綬章

池田 啓祐 (元武器学校副校長)

高田 統

福田 空佑 (元調本東京支部副文部長)
(元陸幕武器化学課長)

勲四等旭日小綬章

徳永 三好 (元武処整備管理課長)

新入会員

「ど〜か宜しくお願い致します」

沢田 和明 (松町業) 沖 肇 (十条)

大須賀 勝 (東北処) 田中 敏勝 (十条)

加藤 忠義 (東北処) 田中 勝信 (会監)

井上 賢司 (武処) 大塚 忠宏 (武校)

三輪 虞治 (調本) 木切倉福男 (会監)

百武 義博 (5武器) 山ノ内 東 (反町)

岩月 察芳 (10師団) 坂下 照志 (北処)

竹原 照雄 (10後支) 松浦 孝昇 (武処)

計報

『心からお悔やみ申し上げます』

池上 巖 (陸幕) 「八・十・三十」

明地 力 (武処) 「八・十一・三」

岡新次 (武校) 「八・十一・二十二」

対馬 嘉昭 (武校) 「八・十一・十二」

加藤 良雄 (十条) 「九・一・十四」

王土会データー・ファイルから

最近のパソコンフォームに乗り、王土会でも会員名簿の資料をコンピュータに入力し、いつでも最新の名簿が作成できるように資料を整理しておりますが、ただ名簿作成のためだけでは飽き足らず、さらに他への活用にも心掛けております。

勿論、プライバシーの保護を優先することを第一に考えての上でのことではあります。が、例えば喜寿を迎え、名誉会員となる方のリアルタイムでの掌握、会員の年齢構成、或いは会員の居住地がどのように分布しているかなどの資料をも得て、会のスムーズな運営を図るための資料としております。

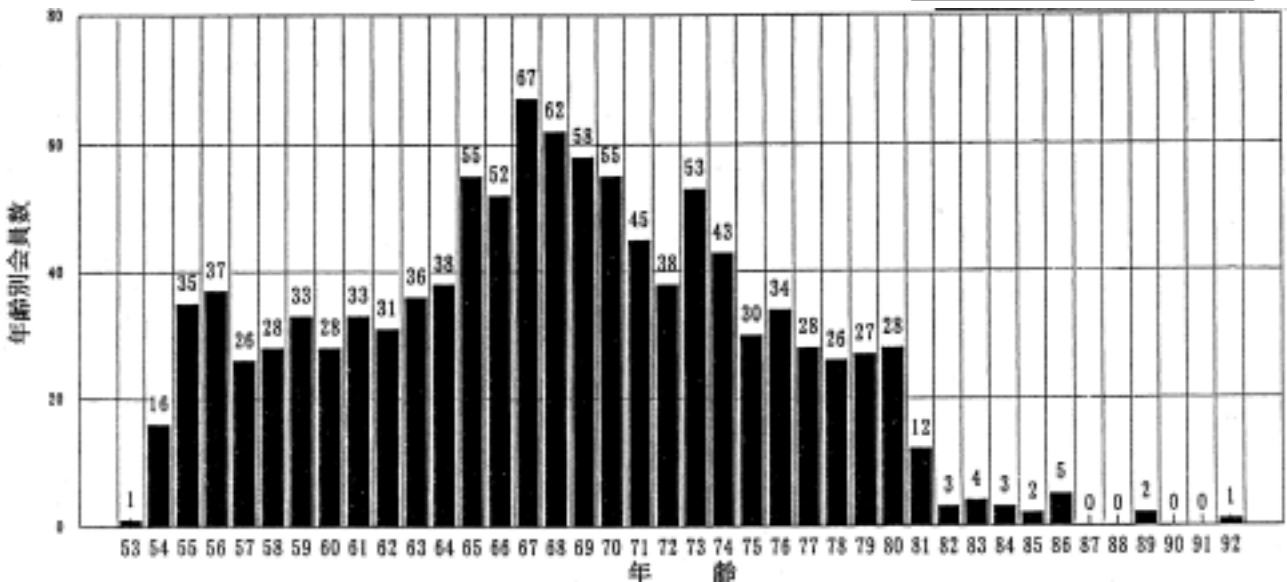
しかし、このような資料は事務局だけで保管しておくだけではなく、会員の皆様にも見ていただくことと思ひ、一昨年の十月発刊の会報第七号に初めて掲載しましたが、これからも継続して最新状態を整備しつつ、ご紹介していくこととしております。

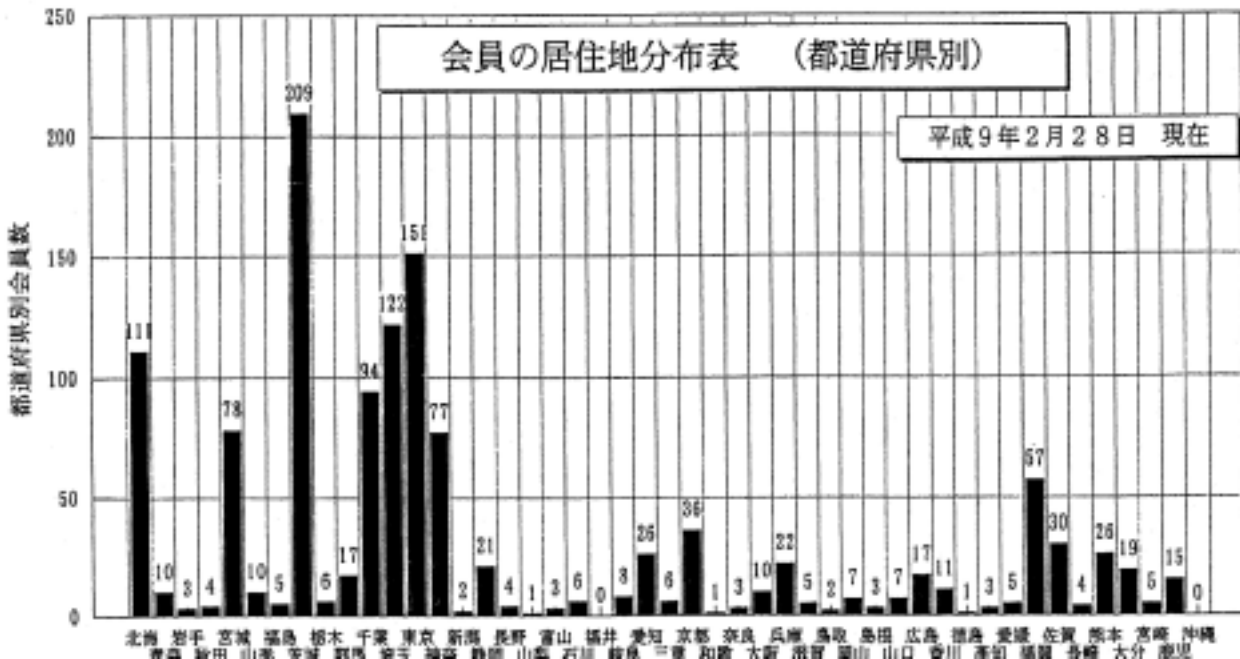
今回も、本年二月末日現在の状態ですが、「会員の年齢構成」と「会員の居住地分布」を掲載いたしましたので、何かの参考にしていただければ幸いです。

(担当 馬渡理事)

会員の年齢別構成表

平成9年2月28日現在
平均年齢：67.81歳





事務局から

一、事務局移転問題
 前号でもお伝えしましたように、武器補給処等の改編により、王土会事務局の設置場所が問題となり、理事会でも度々議題として取り上げ検討を続けておりますが、まだ結論に至っておりません。

現在、理事会としては、陸幕武器化学課長と鋭意調整中であり、近く結論に達することになるようであります。

決定次第、会員の皆様にはご連絡いたしますが、それまでの間は、これまで同様、十条支処の援護班が事務局の仕事を続けて頂けますので、ご利用下さい。

二、名簿の改定について
 現在お手元にあります名簿は、平成五年に作成したものです。既に五年目を迎えており、皆様の記載事項もかなり変更されてきております。

毎年訂正版をお送りしておりますが、会則にも、二乃至三年毎に発行することとしておりますので、そろそろ新規のものを作らなければと考えております。

しかし、前述のとおり、事務局移転問題がありますので、これが一段落したところで、新規事業に取掛かりたいと考えております。今暫く、現在の名簿をお使い下さいますようお願い申し上げます。

編集後記

平成四年四月に第一号を発刊、事後平成五年からは年二回の発刊を続けてまいり、今回

は第十号を数えるに至りました。

この間、皆様からのお便り、或いは陸幕武器化学課をはじめとする部隊等からの情報を中心に編集し、少しでも会員の皆様の役に立つ情報誌となるべく努力してまいりました。

皆様からの励ましの声に支えられての五年間でしたが、これからも一層の内容充実に努める所存でありますので、皆様の方のご支援よろしくお願い致します。

「インターネット」は、三回にわたり年金のお話をお送り致しましたが、いかがでしたでしょうか。

次号では、新たなテーマでお送りする予定にしておりますので、ご期待下さい。

また、今回から陸幕武器化学課のご支援を待て、シリーズで「最近の装備品」を紹介していくこととしました。

第一回目は小火器二種類を取り上げてみました。また、逐次、各種装備品を写真を中心に紹介することとしております。

これも併せて、ご期待下さい

ご好評！

**王土会オリジナル
タイピンセット**

武器科の職種徽章を
あしらった金メッキの
タイピンとカフスポタン

頒布価格 **2,000円**
(送料共)

ご希望の方は事務局まで
 ☎03-3908-5121 内線 351
 郵便振替口座番号 00120-0-37609

最近の装備品の紹介

89式 5.56mm小銃



折曲げ銃床型

諸元性能

口径	5.56mm
全長	約920mm(固定銃床型) 約670mm(折曲げ銃床型)
銃身長	420mm
重量	3.5kg
作動方式	ガス圧利用
給弾方式	弾倉式
発射速度	最大約850発/分



固定銃床型

備考

これまで使用されてきた64式小銃の更新近代化用で、平成元年から取得開始。口径はNATOの第2標準弾である5.56mmを採用している。固定銃床型と空挺や戦車隊員などの用に折曲げ銃床型の2型式がある。銃床の素材には強化プラスチックを使う等、一部に新素材を取り入れて、これまでに比べ20%ほど軽量化が図られている。部品点数も64式に比べ約10%少なく、分解結合が容易にできる。

5.56mm機関銃 (MINI-M1)



ベルト方式

諸元性能

口径	5.56mm
全長	約1040mm
重量	6.85kg
給弾方式	弾倉式、ベルト式
発射速度	750~1,000発/分



弾倉方式

備考

従来の機関銃(62式7.62mm機関銃)より、35%も軽量化されており、発射速度も大幅に増大し(650~1,000発/分)威力を高めている。また、給弾方式に、ベルト方式と弾倉方式のどちらでも使える特徴を持っている。平成5年度から取得に着手している。